

国際・経済・港湾委員会行政視察概要

1 視察月日 令和4年10月31日（月）～11月2日（水）

2 視察先及び視察事項

(1) 経済産業省九州経済産業局（福岡県福岡市）

高度外国人材の獲得・活用支援について

(2) 福岡県福岡市

ア ウォーターフロントでの誘客の推進について

イ 博多港の国際化に向けた取組について

(3) 愛知県名古屋市

名古屋市産業振興ビジョン2028について

3 視察委員

委員長 中山 大 輔

副委員長 高 橋 のりみ

同 齋 藤 真 二

委 員 田 野 井 一 雄

同 鴨 志 田 啓 介

同 長 谷 川 え つ こ

同 森 ひろたか

同 竹 野 内 猛

同 こ が ゆ 康 弘

視察概要

1 視察先

経済産業省九州経済産業局（福岡県福岡市）

2 視察月日

10月31日（月）

3 対応者

九州経済産業局国際部企画調整官（受け入れ挨拶・説明）

九州経済産業局国際部投資交流促進課長（説明）

九州経済産業局国際部職員（説明）

4 視察内容

高度外国人材の獲得・活用支援について

ア 我が国を取り巻く現状

現在、我が国の労働人口は、2021年平均で6860万人と、前年に比べ8万人減少し、2年連続の減少となった。中でも、25～34歳の若者世代の労働人口は10年以上連続で減少しており、今後、日本の労働力人口は減少傾向で推移していくことが予想される。

また、主要国の総人口に占める生産年齢人口の割合を比較すると、日本の減少ペースが顕著となっている。1990年時点で69.7%と、主要先進国の中でも高水準だった日本の同比率は、2015年に61%へ低下し、米国の66.1%、ドイツの65.8%、英国の64.3%、フランスの62.8%を下回る結果となった。日本の同比率は今後も低下を続け、2050年には51.1%と、他の主要先進国との差がさらに拡大する見通しである。

しかし、国内における外国人就労者数は、2020年に170万人を突破している。対前年増加率も、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4%と一桁台の増加率だったが、近年は増加傾向にある。

イ 高度外国人材

高度外国人材とは、日本国内又は海外の大学等を卒業し、企業において研究者やエンジニア、海外進出等を担当する営業等に従事する外国人材を想定している。また、在留資格だと、高度専門職や技術・人文知識・国際業務等の専門的・技術的分野の在留資格で就業

する外国人材に該当する。技術・人文知識・国際業務の在留資格を持つ外国人は、2012年の約11万人に対し、2020年では2倍以上の約28万人に増加している。2019年から2020年では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で増加率は低下したが、今後も在留資格を持つ外国人数は増加する見込みとなっている。

高度外国人材の活躍推進を通して目指すべき姿として、日本企業が高度外国人材の活用を通じて、海外展開やイノベーションの創発等を実現し、自社の競争力を強化することで、日本経済全体が活性化することも目指している。企業が高度外国人材を活用する利点として、3つ挙げられる。

1つ目は、商機拡大・ビジネス多様化で、海外営業力の強化、新販路の開拓、インバウンドビジネスの拡大などが挙げられる。2つ目は、イノベーション創発で、新商品、新サービス、新ビジネスモデルなどの創出の利点がある。3つ目は、組織の活性化として、多様性の向上、日本人社員の意識改革、日本人社員の能力向上が挙げられる。

また、高度外国人材と新卒留学生どちらについても、海外展開を実施・計画している企業での採用意欲が高い傾向となっている。

ウ 九州での外国人材の現状

九州で働く外国人材のうち、4割以上が技能実習生で全国平均と比較すると高い割合になっている。一方で、高度外国人材の割合は低く、活用を推進していく必要があるとしている。

留学生のみで考えると、昨年と比べ全国的には減少したが、九州地域では微増している。しかし、就職数が年々増加する中にもかかわらず、賃金の高い東京や大阪企業への就職が目立ち、九州企業は十分にチャンスを生かしきれていないのが現状となっている。就職率では、全国平均の12%に比べると、九州地域は5%となりかなり低い値となっている。

九州の中小企業へアンケート調査を行ったところ、外国人材採用意向として、ぜひ採用したいが25%、採用を検討したいが56%、採用したくないが18%、無回答が1%となった。8割以上の企業が採用の意欲があるとしている。

エ 高度外国人材の活用支援に係る取組

現在、イノベーションや生産性向上等の面で活躍が期待される高度外国人材の獲得に向けて、ジェトロが行っている全国ベースの高

度外国人材活躍推進プラットフォーム、九州7県等で行っている九州グローバル人材活用促進協議会、九州経済産業局独自の人材確保支援等事業の3つの取組がある。ジェトロへの相談案件を経済産業局事業へ取り次ぐ、経済産業局事業でグローバル協議会の施策紹介を行う等の相互連携により相乗効果も発揮できるようになっている。

九州経済産業局が独自に行っている、地域中小企業人材確保支援等事業では、新規市場の開拓や海外を含めた事業展開を実施・予定する中小企業・小規模事業者に対し、有用なスキルの保持やイノベーションを生み出す等の経営力強化につながる高度外国人材の確保・定着を支援するものとなっている。企業の経営課題に沿った求人像を明確化し、魅力発信・マッチング支援を行うことで、留学生を含む高度外国人材の確保を図っている。日本人とは異なる知見や視点を持つ外国人材の確保、定着の面において支援することで、多様な人材による企業の新たな成長と発展を促進している。具体的な事業内容として、3つのフェーズに分けて支援を行っている。

フェーズ1は、経営と採用力強化のため、企業の営業課題を深掘りし、その解決に必要な人材の明確化を図り、適切な人材につなげるほか、情報拡散等による新規支援企業の発掘に取り組むため、企業ヒアリング、コンサルティングを行っている。その他にも、外国人材採用に必要な在留資格知識、面接手法、社内体制整備、事例紹介や支援施策紹介等を実施するほか、従業員の受け入れ意識醸成を図るための、企業向けセミナーや行政書士等の専門家による外国人材確保にかかる個別相談会を開催している。

フェーズ2は、母集団形成と魅力発信のため、就業体験によるミスマッチの解消と企業の魅力の周知を図るインターンシップ支援。留学生等に対し、合同会社説明会を開催し、企業の魅力を伝える、合同会社説明会の開催。外国人材の活用事例等を掲載した事例集を作成し、ホームページ等で紹介することで企業のPR及びマッチングにつなげる事例集の作成を行っている。

フェーズ3として、マッチング・定着支援のため、留学生に対し、就活に係る相談等を受け付け、キャリアカウンセリングを実施し、ミスマッチの防止や企業の求める人材確保ができるような支援を行っている。そのほかにも、合同マッチングや個別マッチング等を状況に応じて、対面式・オンライン方式で行い、外国人材採用のフ

フォローアップを実施している。また、合同マッチングと同時開催での相談会や採用後のフォローアップ実施等により外国人材と従業員との関係を強化し、定着率のアップも図っている。

オ 質疑概要

Q 九州は広く、情報発信をしても届かない事や、上手く伝わらない事があると思うが、各県との情報発信での連携等を行っているのか。

A 各県に留学生サポートセンター等を設置し、そこで情報発信を行うようにしている。直接的な連携はないが、各県の動向等をチェックし、留学生等に情報を発信している。

Q 留学生への情報発信は、様々な取り組みが行われているが、企業向けの発信はどのようなものがあるのか。

A アンケート等を企業に送り、回答があった企業へは情報の共有をし、発信につなげるようにしている。また、経済団体等と連携し、お互いの情報を発信している。

Q 外国人材を、単なる労働力として見るのではなく、日本人従業員の意識醸成のため、何か具体的な取組を行った企業はあるのか。

A 企業独自での具体的な取組までは、把握はしていない。九州経済産業局としては、セミナーを開催している。

Q 外国人材の雇用にあたり、なぜ日本で就職しようと思ったのか、ニーズ調査等を行っているのか。

A 今現在は円安となっているが、日本の技術力を習得するためや、意識的な部分を学びたい等の声が多い。

Q 海外で実績を積んだ方が、日本で就職するケースもあると思うが、九州経済産業局の取組は、留学生を対象としたものが多く見られるが、留学生の就職に力を入れているのか。

A 企業と外国人材のミスマッチを減らすために、ある程度ターゲットを絞る必要があり、現在は留学生向けの取組が多くなっている。

Q 高度外国人材となると、ある分野について自国で学び、他国で生かそうとする人を指すことが多いが、そういった人材を欲している企業は少ないのか。

A 現状、企業に一番ニーズがあるのが、海外への販路開拓等のための、言語能力の高い人材を必要としている。そのため、日本語と外国語を話すことができ、企業に就職し、企業の製品等の知識

を得ることができる留学生が、企業にとって一番需要がある。

Q 企業としては、留学生を雇うより、外国語を話せる日本人を雇う方がいいと考えてしまうのではないのか。

A 企業としては、海外への販路開拓等のために、外国語だけを話せる人材が欲しいというわけではない。留学生の方が、自国等へのある程度のつながりやネットワークがある。そこを活用できる点で、日本人の新卒採用より、留学生が企業としてはニーズがある。

Q 外国人材の就職率に円安の影響はあるのか。

A 今現在、就職率に大きく影響はないが、母国への仕送りに対する税金等の問題はある。



(会議室にて説明聴取及び質疑)



(九州経済産業局入口にて)

視察概要

1 視察先

福岡県福岡市

2 視察月日

11月1日（火）

3 対応者

港湾空港局港湾企画課長 （受け入れ挨拶・説明）

港湾空港局港湾企画課職員 （説明）

福岡市海浜公園管理事務所職員 （説明）

4 視察内容

（1）ウォーターフロントでの誘客の推進について

ア 博多港の歴史

博多港は、2000年も前から大陸との交流がある、歴史ある港となっている。西暦57年には、後漢の光武帝から金印が送られたと伝えられている。1899年に国から開港指定を受けて、国際貿易港として正式にスタートした。博多港としては、2019年に開港120周年を迎えた。

イ 博多港の取組

平成28年3月改訂の博多港港湾計画では、活力と存在感に満ちた日本の対アジア拠点港を目指すために、3つの方針をエンジンに例え、博多港を次のステージへステップアップさせる方針を立てた。1つ目の方針を物流エンジンとして、市民生活や経済活動を支える港湾物流の安定的かつ効率的な活動を促進するため、物流拡大や海運の動向等に対応した港湾機能の強化や港の機能再編に取り組み、都市の持続的な成長につなげるために、都市の成長を牽引するみなとづくりとした。2つ目の方針を人流エンジンとして、日本一を誇る国際旅客港として、定期旅客船の機能充実やクルーズ船の受け入れ環境強化、貴重な水辺を生かしたにぎわい空間の創出、良好な景観の形成を図ることで、市民や国内外の方々の交流を促進し、親しまれる魅力的な海の玄関口づくりのために、交流を促進し親しまれるみなとづくりとした。3つ目を環境エンジンとして、人と自然と

の共生をめざし、自然豊かなエコパークゾーンを中心に、市民との共働による環境の保全と創造の取組を促進し、水底質の改善や身近に自然と触れ合える場の形成などを図り、また、環境負荷の少ない荷役機械の導入や低炭素型物流を促進するために、環境を守り・育てるみなとづくりを方針としている。

ウ 第1エンジン・物流

コンテナターミナルの機能強化として、国際海上コンテナ取扱量の増加や船舶大型化に対応するため、アイランドシティ地区の水深15メートル岸壁やコンテナターミナルの拡張を計画している。また、輸出台数増加などにも対応するため、輸出拠点用地の確保と水深12メートル岸壁も計画している。また、船舶の安全かつ円滑な航行を確保・維持するために、中央航路等の整備や、継続的に発生する浚渫土砂を安定的に受け入れる海面処分場も計画している。

国際・国内ROROターミナルの機能強化を図るために、ROROTerminalを箱崎ふ頭地区に計画し、貨物鉄道との接続を強化することで博多港の能力向上を計画している。

老朽化や利用の低下した岸壁の利用転換や機能廃止を進め、需要が低下した水面貯木場を廃止し、将来的な物流機能再編に向けた種地として、岸壁やヤードの計画をしていく。耐震強化岸壁の整備や、救援活動等の拠点となるオープンスペースも計画している。

エ 第2エンジン・人流

アジア市場の成長を背景に、中央ふ頭地区において大型クルーズ船の2隻同時着岸や、世界最大級のクルーズ船受け入れのため、岸壁の強化と中央航路の拡幅等を計画している。

ウォーターフロントの活性化のため、天神・博多地区に次ぐ第3の都心部の拠点として貴重な水辺を生かしたにぎわい空間や、シンボリックな広場等の交流空間の創出に向けた土地利用を図り、ウォーターフロント地区の再整備を目指している。また、博多港景観形成指針の運用とともに、道路空間の高質化や賑わいの演出など、良好な景観形成を図る。

オ 第3エンジン・環境

アイランドシティはばたき公園の整備や、海域での水底質の改善、ならびに市民との共働による環境の保全と創造を促進し、エコパークゾーンにおける環境の質的向上を目指している。

また、港湾活動における環境負荷の低減のため、世界最高水準の

エココンテナターミナル実現に向けて、環境負荷の少ない荷役機械の導入や、実証実験等を促進している。

カ 質疑概要

Q 福岡市海浜公園「海っぴビーチ」のコロナ禍での利用状況、誘客効果はどのくらいなのか。

A 訪日外国人観光客が、マリゾン等を訪れていたが、水際措置により外国人観光客は激減した。また、イベントの開催制限等により、海浜地を利用するバレーボール大会、練習や夏のイベントが中止になり、これらの参加者は減っている。

他方、三密回避のため散歩等での公園利用者が増加し、公園全体の利用者数は、コロナ前よりも増加している。

Q 福岡市海浜公園でのマリゾンを含め、周辺施設との連携や、まちづくりでの創意工夫したことは何かあるか。

A 地区の振興・発展のため、地元の企業、公共施設、病院等の31団体において、シーサイドももち関係施設協議会を設けた。海浜や近隣地域の清掃活動、パンフレット作成や会員同士での施設見学など集客アップ活動等を定期的に行っている。海浜公園で行われるイベント等についても、自治会や関係機関と連携して開催・運営を行っている。

Q 福岡市海浜公園の補助金、管理等で県や国との連携はどのようになっているのか。

A 日常の管理等で国や県との連携は特にない。管理費は市費のみとなっている。

Q アイランドシティは環境配慮も行っているとのことだが、具体的な取組はどのようなものがあるのか。

A まちづくりエリアの土地分譲について、太陽光発電設備の設置を必須とするなど、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組を求めた公募を行った。

Q アイランドシティの経済効果はどのくらいのものなのか。

A アイランドシティ整備事業では、4つの目的に沿ってそれぞれ一定の成果をあげている。2022年の9月には、アイランドシティ整備事業の収支見込みについて約150億円の黒字になることを公表している。

Q 博多港が現在、誘客や観光に力を入れている取組はどのようなものがあるのか。

A 誘致部門としては、博多港発着クルーズ・ワールドクルーズ等を誘致すべく、定期的に船社訪問し、具体的なコースプランを提案する等して、商品造成に働きかけている。港湾側でも、博多港発着クルーズ・ワールドクルーズ等の岸壁予約に関して、優遇処置を設け、岸壁使用料の減免上乘せをする等の取組を行っている。

国際ターミナル総合案内において、観光パンフレットの配布等、福岡市や九州の観光案内、屋台案内や市内のバス一日乗車券等の販売も行っている。

Q ウォーターフロントの今後について何か計画はあるのか。

A コンテナ置き場となっている部分を、移動させ空間をつくり、そこににぎわい施設を作る予定だったが、新型コロナウイルス感染症により計画の見直しをしている。

Q 港湾空港局として、福岡市内への回遊性向上や誘客の取組はあるのか。

A 具体的な取組等はないが、半径5キロ圏内に陸海空の交通拠点があり、利便性を重視することで回遊性の向上を図っている。

Q アイランドシティの人口はどのくらいなのか。

A 令和4年9月時点では、約1万3800人となっている。

Q アイランドシティ内には、小学校等の教育施設はあるのか。

A アイランドシティには、子育て世代の転勤者が多く、教育施設等の需要が高くなっている。現在、小学校が2校あり、3校目を計画している。中学校も1校あり、2校目の計画をしている。



(海っぴビーチにて説明聴取及び質疑)



(海っぴビーチにて)

(2) 博多港の国際化に向けた取組について

ア 博多港におけるクルーズ受け入れ

博多港は地理的優位性があり、特に今後の需要拡大の余地が大きいアジアに近く、中国人向けのショートクルーズの寄港地として優位な位置となっている。また、近くには、高速道路、鉄道、空港など交通網が集積しており、交通の利便性もある。主なクルーズとして、上海・済州・釜山・福岡の3か国を4泊5日で巡るものと、天津・大連・青島・済州・釜山・福岡を5泊6日で巡るものがある。博多港は、毎年クルーズ船の95%近くが外航船となっている。しかし2019年以降は、新型コロナウイルスの影響で、著しく寄港回数が減少した。

イ クルーズ船の受け入れ環境

博多港は、クルーズ船寄港回数は国内上位で、国際乗降客数では日本一を誇る。国の観光立国の推進に大きく貢献をしている。しかし、アジアクルーズ市場の急成長等により、寄港回数の増加や船舶の大型化など、博多港を取り巻く環境の変化があり、岸壁や水深の不足等の問題がある。

現在、博多港では中央ふ頭の3バースをクルーズ船受け入れに使用している。箱崎ふ頭も物流ふ頭だが、暫定的にクルーズ船受け入れに使用し、オアシス級の受け入れが可能となっている。

中央ふ頭では、元々あった岸壁を平成30年に延伸し、多くのクルーズ船受け入れができるようにした。また、待合室や入国審査を行うためのクルーズセンター、観光情報発信、物販や飲食のための利便施設、歩行者シェルターを設置して、利便性の向上を図っている。

ウ 質疑概要

Q 博多港の国際化に向けて、取り組んでいる施策は、直近だとなりにあるのか。また、現状の課題等はあるのか。

A 中央ふ頭の国際ターミナルやクルーズセンターについて、案内サインを多言語表記とすること等、外国の方にとって分かりやすい港になるように努めている。

Q アジア戦略の最前線のみなとづくりの具体的な取組は、何かあるのか。

A 福岡市は、第三次産業が9割を占める産業構造であり、来街者を増やし、消費を拡大することが活性化と、都市全体に活力をもたらすことにつながるため、観光・MICEの振興に積極的に取

り組んでいる。

その柱の一つとして、博多港に対するコロナ禍前の近年のアジア市場におけるクルーズ船の配船数増加に対応するため、クルーズ振興に力を入れてきた。具体的には、船舶の大型化に対応するための岸壁の延伸やクルーズセンター等のクルーズ受け入れ環境の整備を行ってきた。

Q みなと臨海部でのハード面のMICE機能強化の計画はあるのか。

A すでに多くのMICE施設があり、施設を補完するように周辺施設もできている。今後について、具体的な施策はないが、検討はしていく。



(港湾空港局内にて説明聴取及び質疑)

視察概要

1 視察先

愛知県名古屋市

2 視察月日

11月2日（水）

3 対応者

経済局産業労働部産業企画課長（受け入れ挨拶・説明）

経済局産業労働部産業企画課産業企画係長（説明）

4 視察内容

名古屋市産業振興ビジョン2028について

ア ビジョンの概要

名古屋振興ビジョン2020の計画期間終了に伴い、当地域の産業の持続的発展を図っていくために、名古屋市の産業振興施策及び就労支援施策の基本方針と施策の方向性を示す、新たな産業振興計画を策定するものとなっている。まちづくりの指針である、名古屋市総合計画2023のもとでの産業振興施策と就労支援施策に関する個別計画と位置付け、2022年度から2028年度までの7年間を計画期間としている。

産業振興の基本的な考え方は、次世代を担う人材の成長やイノベーションの担い手となる人材の活躍の支援、多様な人材の活躍を促し社会変化による価値観の多様化に対応した新商品・新サービスの創造、スタートアップが持続的にイノベーションの創出ができるエコシステムの構築、柔軟かつ機動的にチャレンジする中小企業を積極的に支援を行う。

以前の名古屋市産業振興ビジョン2020では、立地または創業した事業所数の目標値が1100件に対し、1190件。新規雇用者数の目標値が4万4000人に対して、4万8189人と目標値を超えることができた。しかし、経済情勢の変化により新たに生じた課題がいくつか出てきた。名古屋地域の強みであるものづくり産業をはじめ、様々な産業分野において構造変化が起こり、激化する国際競争への対応が必要になること。情報や環境技術の急速な発展により、産業の垣根がなくなることにより生まれるビジネスチャンスに取り組む事業者を育

成し、多様な産業構造の構築に向けたスタートアップ・エコシステムの形成を進めていくことが求められること。コロナ禍の影響を受けた中小企業の経営基盤の安定化とともに、ポストコロナ社会を見据えた新事業進出・事業展開を促進することが求められていること。働き方が大幅に変化している中で、多様な人材の活用と多様で柔軟な働き方を選択できる環境を整えることが求められていることが課題となった。

イ 施策の方向性と具体的な取組

名古屋市が目指す姿を実現するため、3つのプロジェクトを立て推進していくこととした。また、プロジェクトごとに、いくつかの施策の方向性を作り、具体的な取組を方向性ごとにまとめている。

(ア) スタートアップ・エコシステムによるイノベーションの創出促進

プロジェクト1を、スタートアップ・エコシステムによるイノベーションの創出促進とし、4つの施策の方向性を掲げている。

1つ目の施策の方向性は、イノベーション人材の育成となっている。具体的な取組として、起業家精神を持った次世代の人材育成、起業家・イノベーション人材の育成の2つを行っていく。

2つ目の方向性は、イノベーションを起こす環境の整備となっている。具体的な取組は、スタートアップコミュニティの形成、産学官連携によるスタートアップの支援、イノベーションの基盤となる企業等の集積促進、資金環境の整備の4つを行う。

3つ目の方向性は、社会実証・オープンイノベーションの促進となっている。具体的な取組は、社会実証の支援、オープンイノベーションの促進の2つを行う。

4つ目の方向性は、グローバル化支援となっている。具体的な取組は、グローバル展開への支援。グローバルネットワークの構築の2つを行う。

(イ) レジリエンスを備え挑戦を続ける中小企業の支援

プロジェクト2は、レジリエンスを備え挑戦を続ける中小企業の支援とし、3つの施策の方向性を掲げている。

1つ目の方向性は、挑戦する企業の競争力強化の支援となっている。具体的な取組は、グリーン・イノベーションの促進、デジタル化(DX)の推進、SDGsの推進支援、販路開拓支援、新たな価値の創造支援、生産性の向上支援の6つを行う。

2つ目の方向性は、創業や事業承継の促進となっている。具体的な取組は、創業・新事業展開の促進、事業承継の促進の2つを行う。

3つ目の方向性は、経営基盤の安定化支援となっている。具体的な取組は、事業継続の支援、資金調達の円滑化支援、経営相談等による支援の3つを行う。

(ウ) 人材への投資と活躍できる環境の整備

プロジェクト3は、人材への投資と活躍できる環境の整備とし、2つの方向性をあげた。

1つ目の方向性は、産業人材の確保となっている。具体的な取組として、人材確保力の向上、多様で柔軟な働き方の推進、就労の促進の3つを行う。

2つ目の方向性は、産業人材の育成となっている。具体的な取組として、産業人材の育成支援、次世代人材の成長支援の2つを行う。

ウ ナゴヤ・イノベーターズ・ガレッジ

名古屋大都市圏の経済のさらなる発展を目指し、企業の新たな価値の創出を促進するため、経済団体等の連携により企業の交流・共創を促すイノベーション拠点を設置し、意欲ある起業家や企業が集い交流できる場などに活用し、人材育成やイノベーション活動を行う場としている。令和3年度には、セミナー等の開催を287回行っている。来場者数は、2万3075人となっている。

令和4年度の主な事業として、スタートアップ企業のさらなる成長を促進するため、ビジネスを多方面からサポートできる体制を構築するとともに交流会の開催を行う、スタートアップサポートコミュニティ等形成事業。世界に通用するトップレベルのスタートアップ企業を創出する、グローバルスタートアップ創出促進事業。海外市場向けの需要開拓に意欲的な伝統産業事業者に対し、テストマーケティングや展示会出展等に向けた新商品開発について、専門家による支援を行う伝統産業マーケティング支援事業等がある。

エ 質疑概要

Q 起業家精神を持った次世代の人材育成、起業家・イノベーション人材とは、具体的にはどのような取組を行っているのか。

A 小中学生に対する起業家教育や高校生に対する実践的起業家教育を行っている。小学校でイベント等の開催チラシを配布し、イ

ベント会場では、カードゲーム形式で企業についての知識をつけることや、起業家との交流の場をつくっている。中学生向けでは、プログラミングを学びながら、IT系の起業家との交流会。高校生向けでは、自らビジネスを作る経験をするなど、より実践的な教育をしている。

Q 広報はどのように行っているのか。

A 市内の小中学校、高校等で1生徒1枚のチラシを持って帰れるように配布している。また、子供から親にチラシが渡ることによって、保護者にも啓発になる。

Q 参加人数はどのくらいなのか。

A 小中学生向けの定員は、年間を通して600人前後。しかし、どこも定員オーバーをしていて、小学生は900人近くの応募がある。高校生向けのイベントは、40~100人前後の規模のものを開催している。

Q スタートアップ支援事業のなかに、GLOW Pitchという大規模なピッチイベントがあるが、具体的な内容はどのようなものなのか。

A シード期からアーリー期のスタートアップ企業を対象としたもので、登壇者はピッチを通してVCや事業会社との接点をつくり、資金調達や協業に向けて動き始めるものとなっている。しかし、ビジネスプラングランプリの様な形式にしてしまうと、社会課題に対するビジネスが賞をとるが、事業にまで結びつかないことが多いので、今後も調整をしていく。

Q 産業革命等があり、既存の企業が地元で事業を続けていくことに対して、何か対策等を行っているのか。

A 市内には、大手自動車メーカーの工場等があり、現状の既存企業全体としての危機感はない。そのため、早急に支援が必要となっていないため、現状は新型コロナウイルス感染症交付金を活用した、新規事業に対する設備費支援が対策等になる。

Q 生産年齢人口の減少、環境問題やデジタル化など、様々な問題が各企業にあると思うが、それらに対する一括した支援等はあるのか。

A 名古屋市産業振興ビジョン2028が、企業の抱える問題に対する大きな支援施策となっている。

Q コロナ禍に対する、伴走支援や特徴的な支援はあるのか。

- A コロナ禍の3年間で、国を通じた約8000億円の金融支援。飲食店も国を通じた支援を行っている。名古屋市独自に、コロナへのリスクがある中、開店していた店舗に、給付金を給付していた。
- Q 担い手不足の問題に対する対策はあるのか。
- A 跡継ぎ施策として、マッチングの機会を創出している。
- Q 次世代の人材育成事業での具体的な成果はあるのか。
- A 小中学生向けの育成事業は、起業に対する知識を持ってもらうことに重点を置いているので、具体的な成果はない。高校生向けの育成事業は、実際にビジネスプランをつくることを行っている。多くのものはアイデア止まりになってしまうが、中にはそのまま起業まで行うものもある。



(委員会室にて説明聴取及び質疑)



(ナゴヤ・イノベーターズ・ガレージ入口にて)